



A 試合会場レポート

試合番号 529

開催日 2025/12/21

令和7年度 天皇杯・皇后杯 JVA全日本バレーボール選手権大会 女子

会場：京王アリーナTOKYO

観客数：	2,863	開始時間：	11:10	終了時間：	13:55	試合時間：	02:45	主審：	佐々木 伸子	副審：	明井 寿枝
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	--------	-----	-------

大阪マーヴェラス



監督：酒井 大祐
コーチ：井上 裕介

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	26	第1セット 【00:31】	24	2
	16	第2セット 【00:26】	25	
	33	第3セット 【00:40】	31	
	24	第4セット 【00:34】	26	
	17	第5セット 【00:22】	15	

ポイント 【】内はセット時間
()内は交代選手

NECレッドロケッツ川崎



監督：中谷 宏大
コーチ：三上 晃右

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

本日は沢山のご声援ありがとうございました。最後は最高な形で終わることが出来ました。
前回優勝から5年の月日があり、今日という日を選手たちはしっかり準備し、気持ちの所でも切らさず、最後まで戦えたことが大逆転勝利に繋がったと思います。
インタビューで田中からもありましたように、チーム全員が勝ちにこだわっていた。あきらめず、集中力を切らさず、1点を積み重ねていくことが成長の一つだと思います。
リーグはまだ続きますが、女子バレーも楽しい、面白いと思えるようなバレーをマーヴェラスは目指しています。ですので、たくさんのご来場、ご声援をよろしくお願いいたします。
皆さんの応援お待ちしております。

<監督コメント>

ファイナルにふさわしい素晴らしい試合を繰りひろげた両チームの選手を讃えたいと思います。
また大阪マーヴェラスの皆様、優勝おめでとうございます。本当に巧みなプレーを繰り出しリスペクトできるチームだからこそ、余計に負けたことが悔しいです。
取れなかったあと1点は、私たちがSVリーグで優勝するために課せられた大きな宿題だと思います。足りないものを認識しより良く、より強くなれるように、また歩みを進めたいと思います。
今日も大勢のクルーの皆様、ファンの皆様、大きな声援をありがとうございました。SVリーグはまだ続きますので、引き続きNECレッドロケッツ川崎の応援をどうぞよろしくお願いいたします。

26	林	ファンヘッケ	第1セット	佐藤	中川	24
	()	(塩出)		()	()	
	フランシス	大山		甲	山田	
	()	()		(児玉)	()	
	東	田中		ヌワカロール	デイ	
	(宮部)	()		()	()	

リベロ： 西崎 リベロ： 大工園

16	林	ファンヘッケ	第2セット	佐藤	中川	25
	()	(塩出)		()	()	
	フランシス	大山		甲	山田	
	(目黒)	()		()	()	
	東	田中		ヌワカロール	デイ	
	(宮部)	()		()	(佐々木)	

リベロ： 西崎 リベロ： 大工園

33	フランシス	林	第3セット	佐藤	中川	31
	()	()		()	(和田)	
	塩出	ファンヘッケ		甲	山田	
	(宮部)	(東)		()	()	
	田中	大山		ヌワカロール	デイ	
	()	(目黒)		(澤田)	(佐々木)	

リベロ： 西崎 リベロ： 大工園

24	フランシス	林	第4セット	佐藤	中川	26
	()	(志摩)		()	(和田)	
	塩出	ファンヘッケ		甲	山田	
	(宮部)	(東)		()	()	
	田中	大山		ヌワカロール	デイ	
	()	()		(澤田)	(佐々木)	

リベロ： 西崎 リベロ： 大工園

17	フランシス	林	第5セット	佐藤	中川	15
	(目黒)	()		()	(和田)	
	塩出	ファンヘッケ		甲	山田	
	(宮部)	(東)		()	()	
	田中	大山		ヌワカロール	デイ	
	()	()		(澤田)	(佐々木)	

リベロ： 西崎 リベロ： 大工園

<要約レポート>

皇后杯決勝戦、大阪マーヴェラスとNECレッドロケッツ川崎の対戦。
第1セット、NEC川崎は、序盤から3連続得点し波に乗る。対する大阪MVは東の巧みなトスワークから、攻撃陣がスパイクを決め、接戦に持ち込む。NEC川崎は中盤にヌワカロールのブロックや佐藤のスパイクなどで得点しリードするが、大阪MVは、終盤に東のサービスエースで形勢逆転すると、ファンヘッケのスパイクなどで点を重ね、セットを先取する。
第2セット、NEC川崎はデイやヌワカロールの緩急つけた攻撃で点を重ねていく。対する大阪MVは西崎の懸命なレシーブから攻撃に繋げるが、得点に結びつかず、中盤以降もNEC川崎が着実に点差を広げる。そのまま、選手交代で流れを変えようと粘る大阪MVを振り切り、NEC川崎が9点差をつけてこのセットを取り返す。
第3セット、大阪MVはセッターを塩出に代えてリズムを立て直し、試合をリードする。追いつきたいNEC川崎は、中盤に澤田と和田を投入し、流れを呼び込む。終盤は1点を争う展開となり、最後は林がブロックを決め、デュースとなったこのセットを大阪MVが取る。
第4セット、後がないNEC川崎は大工園や中川が懸命に繋いで、ヌワカロールにボールを集めて点を重ねる。終盤、フランシスの活躍で一歩抜け出した大阪MVを、NEC川崎は佐藤や甲がスパイクを決めて追撃する。最後はチャレンジが成功し、NEC川崎がセットを取ってフルセットに持ち込む。
第5セット、ヌワカロールのスパイクなどでリードするNEC川崎は早めの選手交代で勝負を仕掛ける。一方の大阪MVもフランシスやファンヘッケの高さのある攻撃で対抗する。終盤までもつれたこのセットを、最後は田中がスパイクを決めて大阪MVが制し、5年ぶりに優勝を飾った。

作成者：高澤 利恵